

フランスベッドホールディングスグループ
コンプライアンス基本方針

制定 令和3年11月9日

フランスベッドホールディングス株式会社

フランスベッドホールディングスグループ

コンプライアンス基本方針

当社グループは、コンプライアンスを当社グループ企業経営上の最重要課題の一つと位置付け、当社グループのすべての役員・従業員が、企業の社会的責任を常に認識し、コンプライアンスを実践する体制を構築するため、この基本方針を定めます。

1. 基本的な考え方

(1) 当社グループは、経営理念の実現に向け、事業活動のあらゆる場面でコンプライアンスを徹底し、企業倫理を確立します。

(2) コンプライアンスとは、「当社グループの事業活動に関連するすべての法令、主務官庁が定める監督指針・ガイドライン等および当社グループが定める社内規程（以下これらを「法令等」といいます。）のほか社会のルールやマナーを遵守し、社会の期待と要請に応えるため誠実かつ公平・公正な活動の実践により企業としての社会的貢献を果たすこと」とします。

2. コンプライアンス体制の構築

(1) 体制の整備

- ①コンプライアンスに関する重要事項が、経営陣に適切に報告される体制を整備します。
- ②コンプライアンスに関する事項を一元的に管理し、コンプライアンスを推進する部門を設置するとともに、コンプライアンス体制の確保のために必要な権限を付与します。
- ③当社グループの役員・従業員がコンプライアンス上問題となる行為を発見した場合の報告・相談体制を整備します。

(2) 推進活動の実施

- ①コンプライアンス実践の具体的手引書としてマニュアルを策定し、周知徹底します。
- ②コンプライアンス・プログラムを具体的な実践計画として策定し、実施します。
- ③コンプライアンスを徹底するための研修や点検を行います。
- ④コンプライアンス上問題となる行為については、速やかに是正するとともに、原因を分析し再発を防止します。

3. コンプライアンスに係る役員・従業員の行動基準

(1) 誠実な行動

- ①法令等を遵守するとともに、法令等に違反する行為を発見したときは、勇気をもって指摘し、関係者と協力して是正します。
- ②自分のとるべき行動について迷ったときは、非倫理的でないか、家族や友人に胸を張って説明できるか、当社グループの信頼・ブランドを損なわないか、自身に問いかけて判断します。
- ③あらゆる場面で、あらゆる人に、誠実かつ公平・公正に接します。

(2) 適正な事業活動を支える行動

- ①談合等の競争制限や取引上の地位を利用して不正な利益を得る等の不公正な取引は行いません。
- ②知的財産権を保護するとともに、他者の知的財産権を侵害しません。
- ③業務上知り得たお客さま情報は厳正に管理し、定められた目的以外には利用しません。
- ④反社会的勢力には毅然とした姿勢で臨み、不当、不正な要求には応じません。
- ⑤お客さまの利益が不当に害されることがないように利益相反取引を適切に管理します。
- ⑥グループ内取引や業務提携等を行うにあたっては、取引の適切性を確保します。
- ⑦適時・適切な情報開示を行うことにより、経営の透明性を確保します。
- ⑧インサイダー取引（重要な未公開情報を利用した株券等の取引）は行いません。
- ⑨当社グループの資産や重要情報、営業秘密等は適正に管理します。
- ⑩業務上の立場を利用して、私的な利得行為は行いません。

(3) 人権の尊重および職場環境の確保に関する行動

- ①人権を尊重し、人種、国籍、性別、年齢、職業、地域、信条、障害の有無等による差別やハラスメント行為を行いません。
- ②安全で働きやすい職場環境を確保します。

(4) 社会的貢献

高齢化社会に対応する付加価値がある製品やサービスを開発・提案し、企業としての社会貢献を果たします。

以 上